

EMBO Young Investigator Network Meeting への参加者募集について

国立研究開発法人科学技術振興機構 国際部

2025 年 7 月

JST と欧州分子生物学機構 (EMBO) は、2023 年 7 月に締結した包括的協力覚書の下、生命科学分野における日欧ネットワーク強化のため、様々な協力活動を推進しています。

その一環として、2025 年度は欧州を中心とした卓越した若手グループリーダーのネットワーク ([EMBO Young Investigator Network](#)) のメンバーが集まる **Young Investigator Network Meeting** (以下 YIN Meeting) に、JST の研究プロジェクトに参画している若手研究者 (JST 支援研究者) が 最大 10 名まで参加できることになりました。

世界で活躍する欧州の若手研究者との知見の交換やネットワークの構築・強化を通じて、国際的に更なる飛躍を図る絶好の機会となりますところ、以下の通りご案内いたします。是非奮ってご応募ください。

1. YIN Meeting 概要

- (1) 日程 : 2026 年 3 月 12 日 (木) ~14 日 (土)
- (2) 場所 : チェコ・プラハ
- (3) 参加者 : 下記(a)・(b)合わせて 100 名程度
 - (a)EMBO Young Investigator Network に属する若手グループリーダー
 - (b)JST 支援研究者 10 名 (下記 2.(2)の応募要件を満たしていることが必要です。)
- (4) プログラム構成 : 以下(ア)~(ウ) で構成される予定
 - (ア) サイエンストーク (全参加者各 10 分のプレゼン+2 分の Q&A)
いくつかのテーマセッションに分け、生命科学分野内の幅広いトピックを取り扱います。異なる研究領域における最新の研究を共有することにより、新たなアイデアや連携構築を促します。
 - (イ) ネットワーキング
セッション間のコーヒーブレイクやランチ、ディナー、市街地散策などを通じて参加者間のネットワーク構築を促します。
 - (ウ) 議論セッション
研究者間の共通関心テーマについて議論を行います (2025 年開催時のテーマは Responsible Research Assessment) 。

2. JST 支援研究者の応募について

(1) 応募方法および選考プロセス

(ア) 応募方法

下記アンケートフォームから必要事項を入力し、ご送信ください。(応募〆切：**日本時間 2025年8月31日(日)**)

URL：<https://forms.office.com/e/KvQaPpYcub>

(イ) EMBO による選考 (2025年9月)

主に応募者の研究の独立性及び国際的な競争力の観点で選考を行い、参加者を決定します。

(ウ) 選考結果の連絡 (2025年9月下旬～10月中旬頃予定)

JST より個別にご連絡をさせていただきます。

(2) 応募要件

応募者は、以下(ア)、(イ)の要件をいずれも満たす必要があります。

(ア) 応募時点で ASPIRE、CREST、ERATO、さきがけ、ACT-X、創発事業の研究プロジェクトに 参画していること (研究計画書に記載のある研究者であること)

(イ) 独立研究者 (※) であり、かつ独立から 10 年以内であること

※EMBO 選考における独立の定義は以下 3 点を満たすことが必要です。

- Has experience running their own projects within the last 4 years;
- Has sufficient funding to run their projects;
- Has published at least one last-author or a corresponding-author research paper in an international peer-reviewed journal from independent work carried out in their own laboratory or own project.

(3) 参加可能人数 (予定)

最大 10 名

(4) 参加費用

JST が負担します。(旅費・宿泊費・日当は、EMBO の規定に基づき EMBO を通じて支給されます)

お問い合わせ先

科学技術振興機構国際部 企画調整・国際戦略グループ

E-mail: jst.international@jst.go.jp

【参考情報】

欧州分子生物学機構 (European Molecular Biology Organization (EMBO))について

本拠はドイツ・ハイデルベルクで生命科学研究の発展を目指して 1964 年に発足。欧州の基礎研究者を支援するさまざまな活動、若手研究者のキャリアサポートや研究環境の整備、情報発信など幅広い活動を展開している。EMBL (欧州分子生物学研究所) を設立し、EMBO ジャーナルを発行。世界にノーベル賞受賞者を多数含む [2000 名以上の会員](#)を有し、その多くはヨーロッパの EMBO 加盟国から選出される。日本在住の会員は山中伸弥氏、大隅良典氏など 24 名で、欧州外の国では米国に次いで多い。

JST-EMBO 協力について

- JST 研究者の国際頭脳循環の更なる推進やキャリア開発等に貢献すべく、生命科学分野の国際的なトップ研究者間のネットワーク形成支援や、若手研究者を対象とする育成プログラムを提供する EMBO (欧州分子生物学機構) と 2023 年 7 月 24 日に包括的な科学技術協力に係る [覚書 \(MOC\) を締結](#)。
- 2024 年度から本格的に協力活動を開始。特定の JST 事業で支援中の研究者が EMBO の実施する [Young Investigator Programme](#) 及び [Scientific Exchange Grants](#) への応募が可能になったほか、JST 研究者と EMBO 研究者のマッチメイキング活動を実施中。

これまでの協力実績 (2024 年度の実績報告は[こちら](#))

- Young Investigator Programme
2024 年実施の公募では、創発事業 PI である奈良先端科学技術大学院大学の池内桃子 特任准教授が日本国内の研究機関に所属する研究者として初めて採択となりました。池内准教授のインタビュー記事は[こちら](#)。
- Scientific Exchange Grants
2024 年度には、ERATO 胡桃坂クロマチンアトラスプロジェクトの研究者と、ERATO 上田生体時間プロジェクトの研究協力員 (大学院生) が日本国内の研究機関に所属する研究者として初めて採択となりました。採択者のインタビュー記事は[こちら](#)。
- マッチメイキング活動
JST 研究者と EMBO 研究者のマッチメイキングワークショップを日欧 1 回ずつ実施し、計 100 名以上が参加しました。



第 2 回 JST-EMBO マッチメイキングワークショップ (2025 年 2 月 26 日~28 日@欧州分子生物学研究所)